



平成 17 年 7 月 22 日

各 位

会社名 日本ユニコム株式会社
代表者名 代表取締役社長 河島 毅
(J A S D A Q ・ コード 8 7 4 4)
問合せ先 常務取締役 二家 英彰
TEL 03 - 5623 - 5111

格付取得に関するお知らせ

当社は、平成 17 年 7 月 22 日付で格付会社フィッチ・レーティングス社より、以下のとおり格付を新規に取得しましたので、お知らせいたします。

記

1. 格付取得の理由

当社の企業経営の安全性・信用力を外部機関にて評価してもらうため

2. 取得格付

(短期信用格付) 「 F 3 」

なお、本格付に関する詳細については、フィッチ・レーティングス社のプレス・リリースのコピーを添付いたしますのでご参照願います。

以 上

フィッチ、日本ユニコムに短期格付「F3」を付与

フィッチ・レーティングスーロンドン/東京/シカゴー2005年7月22日：

フィッチ・レーティングス（「フィッチ」）は本日、日本ユニコム株式会社（「日本ユニコム」）に対し、短期格付「F3」を新規に付与した。

格付は、業界大手としての位置付け、着実なボトムライン収益、適切な資本基盤及び高い流動性を反映している。また、価格変動の激しい商品先物市場や同業他社との厳しい競争状況といった、同社を取り巻く厳しい経営環境も織り込んでいる。

日本ユニコムは、約6,500人の個人顧客及び300以上の法人顧客を抱える日本最大の商取会社の一つである。2005年3月期には多額の固定資産売却損がボトムライン収益を圧迫したものの、収益力は良好で、過去20年以上にわたり最終利益を確保している。日本ユニコムの信用リスクは適切に管理されており、クレジットコストは、同社の営業収益水準に比べ小さい。また、同社の手元流動性及びコミットメントラインを考慮すれば、同社の抱える流動性リスクは低いと考えられる。日本ユニコムは自己売買業務を通じて市場リスクを抱えているものの、過去3年間にわたり、エクスポージャーは縮小傾向にある。純資産余裕比率及び2005年5月より新たに導入された純資産額規制比率の双方において、適切な水準の資本基盤を維持している。

一方、同業他社や新規参入組との厳しい競争に加え、2005年1月の委託手数料の完全自由化が同社の営業収益に徐々に影響を及ぼしてくることが懸念される。さらに、同社の商品取引受託業務や自己売買からの収益は、商品市況に大きく左右される。従って、同業他社に変わらず、安定した営業収益確保には、安定的で多様な収益構造及び低コスト体質の構築が求められる。

照会先：

古木 謙太郎、鳥谷 礼子(東京) 03-3288-2772

フィッチの格付の定義は弊社の無料ウェブサイト www.fitchratings.com/ www.fitchratings.co.jp（日本語）に掲載されています。公表された格付、格付基準、格付手法、格付に関する方針および手続きも同サイトに常時掲載されています。なお、本プレス・リリースの英語版を www.fitchratings.com 上で無料でご覧いただける期間は7日間です。